

QEにおける推計品目の細分化による コモディティ・フロー法の見直しの検討について

令和3年9月24日

統計委員会国民経済計算体系的整備部会

内閣府経済社会総合研究所

国民経済計算部

QEにおける推計品目の細分化によるコモディティ・フロー法の見直しに係るスケジュールの詳細について

	内閣府における作業	部会へのご報告
2021年 ～2022年2月	<p><試算及び推計上の課題の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> 現行用いている基礎統計を可能な限り利用し、現行の91品目分類を約400品目(コモ6桁)分類の単位で試算、現行推計との比較 利用統計の変更が可能な品目を検討し、利用統計を変更した場合について試算、現行推計との比較 推計上の課題の洗い出し 	
2022年3月		試算結果と推計上の課題
4月～	<ul style="list-style-type: none"> 推計上の課題を含め、実装に向けた検討を開始 推計品目を細分化した場合の統合比率の試算 	
秋頃		統合比率の試算結果と今後の需要側の扱い
12月	<p>2022年7～9月期2次QE(2021年度年次推計と同時公表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 検討の結果、実装上の課題がなく、大幅なシステム改修の不要な品目について、先行的に細品目化し、それを踏まえ、統合比率を改定 	検討・改善
2023年夏頃		次回基準改定に向け、細分化を実装する品目分類の決定
2023年秋～	<ul style="list-style-type: none"> 検討の結果及び次回基準年(2020年IO表)の部門分類に対応した年次推計及びQEの品目分類の変更の検討、推計システムの改修 	
2024年夏頃～	<2020年基準改定に向けた実装作業>	
2025年12月	<p>2025年7～9月期2次QE(2020年基準改定時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 改修後の新推計システムによる品目細分化を行ったQE推計開始 	